

CONTENTS

- P2～4 阪神・淡路大震災から20年
～防災・復興に男女共同参画の視点を～
- P5～6 事業レポート
- P7 春～夏の講座・セミナーのご案内
- P8 女性相談・チャレンジ相談のご案内



キーワード

男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針 7つの基本的な考え方

男女共同参画の視点で防災や復興を考える時に基本となる、7つの考え方があります。

- 1 平常時からの男女共同参画推進が、防災・復興の基盤となる
- 2 「主体的な担い手」として、女性を位置づける
- 3 災害から受ける影響の男女の違いに配慮する
- 4 男女の人権を尊重して安全・安心を確保する
- 5 民間と行政の協働により男女共同参画を推進する
- 6 男女共同参画センターや男女共同参画担当部局の役割を位置付ける
- 7 災害時要援護者への対応との連携に留意する

(内閣府男女共同参画局「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針(概要)」平成25年5月)

災害は繰り返し発生します。今後、南海トラフ巨大地震も発生が予想されています。4年前の東日本大震災、20年前の阪神淡路大震災の教訓を活かし、男女共同参画の視点を持って防災・復興を考えましょう。

特集

阪神・淡路大震災から20年 ～防災・復興に男女共同参画の視点を～

今年で、阪神・淡路大震災から20年。各地で追悼集会や、防災・減災、復興をテーマにイベントが開かれ、新聞やテレビなどのメディアでも特集が組まれています。20年前の阪神淡路大震災の体験を忘れることなく、過去の震災体験から未来の防災・減災を考えていきましょう。

阪神・淡路大震災から学ぶ

尼崎市女性センター・テレビエでは、2014年12月に震災20年事業「防災・減災、復興に女性の力を」尼崎地域フォーラムを開催しました。その中で、清原 桂子さんは、阪神・淡路大震災をふりかえり、当時の被害の状況や、男女共同参画の課題を提示しました。

男性に比べ女性の死者が約1,000人多かった、女性用・乳児用救援物資の不足、避難所や仮設住宅、復興住宅等の意思決定過程での女性の視点と参画の不足、もともと女性は不安定雇用で働いている人が多いため災害を理由に解雇、男性たちの閉じこもり、アルコール依存問題など、災害時には男女共同参画の問題が顕在化します。

防災・復興に男女共同参画の視点を

このような災害時の男女共同参画の課題を解決するために、女性たちは取り組んできました。女性への暴力(DV・性暴力)の相談に乗ったり、女性支援ネットワークを作り、そのなかで女性達の悩みを分析し、解決に向け提言を行ってきました。1995年8月第4回世界女性会議(北京女性会議)では、尼崎市の女性たちが中心となり、ワークショップ「パート労働と尼崎の女性・震災と女性」を開催し、尼崎の女性の現状を発信しました。

阪神・淡路大震災後も、日本各地で地震や水害などの災害が起きました。そのたびに同じような問題が繰り返し起こり、防災・復興に男女共同参画の視点が入ることの重要性が認識されていきました。

2005年に第2回国連防災世界会議「兵庫行動枠組み2005-2015」が採択され、国の「防災基本計画」に初めて男女共同参画の視点が盛り込まれ、災害時に男女のニーズの違いに配慮することなどが明記されました。その後2010年に策定された現行の第3次男女共同参画計画の第14分野に「地域、防災、環境その他の分野における男女共同参画の推進」が重点項目として掲げられました。防災に関する政策・方針決定の場や防災の現場への女性の参画の拡大等が明記されています。



震災20年事業「防災・減災、復興に女性の力を」尼崎地域フォーラム
「未来へ伝える女性たちの復興支援」

2014年12月7日

パネラー

斉藤 容子 人と防災未来センター主任研究員
正井 禮子 NPO法人女性と子ども支援センター
ウイメンズネットこうべ代表理事
宗片 恵美子 NPO法人イコールネット仙台代表理事
コーディネーター
清原 桂子 神戸学院大学現代社会学部教授

ひとりひとりが防災を考えよう

第3次男女共同参画計画制定後の2011年3月に、東日本大震災は発災しました。

東日本大震災では、国や各地の女性関連施設、男女共同参画センターは、いち早く女性の安全を守ることや、女性のニーズを把握し災害対応することに取り組みました。しかし、それでも課題は残りました。

東日本大震災以降、全国で防災に関する見直しが始まっています。生活者の多様な視点やニーズを反映した防災対策・防災体制にするために、防災に関する政策・方針決定過程や防災の現場への女性の参画を進めたり、男女共同参画の視点を持って防災計画の見直しを行なっています。

尼崎市では、2014年に防災計画が修正されました。防災会議に女性部会を設置し、多様な視点からの意見を、修正に反映させました。

平時にできないことは、非常時にもできません。阪神・淡路大震災の起きた20年前に比べ、尼崎市は高齢化が進み、単身世帯やひとり親世帯が増加しています。災害が起こった時に、乳幼児やひとり親世帯、ひとり暮らしの方、高齢の方、障害のある方、外国人の方などは、災害からの被害とともに、さらなる生活の困難に直面します。行政と地域に根差した民間との連携がさらに重要となります。日ごろから、ひとりひとりが男女共同参画の視点を持ち、災害時に地域で何ができるのかを考えていきましょう。

2015年3月、第3回国連防災世界会議(仙台)では、「兵庫行動枠組み」の後継となる「仙台行動枠組み」(災害による犠牲者の割合や被災者の数、経済的な被害など7つの項目について、2030年までに従来よりも減らすなどとする目標が盛り込まれた)に、186カ国が合意しました。

防災への取り組みは続いています。阪神・淡路大震災を忘れず、被災体験の教訓を活かし、取り組みを繋いでいきましょう。

防災を伝える・考える

フォトボイス展

～東日本大震災被災地の女性撮影者をかこむ集い～

2014年11月30日 フォトボイス展 11月30日～12月7日

スピーカー 八代 ちか子 フォトボイスせんだいメンバー

コーディネーター ゆのまえ 知子 NPO法人フォトボイス・プロジェクト代表

東日本大震災の被災3県の女性たちが、災害やその後の生活などを撮った写真(フォト)に声(ボイス ことば)を付けました。八代さんは、被災の経験や思いを語り、ゆのまえさんは、被災各地の女性たちが撮影した作品をひとつひとつ丁寧に紹介しました。

震災20年事業「防災・減災、復興に女性の力を」尼崎地域フォーラム、および2014あまがさき女性フォーラムワークショップ3として開催。



尼崎市男女共同参画計画改定に むけた学習会～「防災・防犯等 における男女共同参画の促進」を 中心に～

2015年1月31日

講師 相川 康子 特定非営利活動
法人NPO政策研究所専務理事

内閣府 地域における男女共同参画
促進を支援するためのアドバイザー
派遣事業。

なぜ災害時に男女共同参画の視点
が必要であるか、阪神・淡路大震災や
東日本大震災の事例をもとに確認し、
男女共同参画計画の改定時の問題と
課題を考えました。また、地域防災の
場で女性を育成し活用するためには

どうすれば
いいか、参
加者から多
様な意見が
ありました。



防災を伝える・考える

情報誌づくりセミナー

日時 1月30日～2月13日(金) 全3回

講師 松井 貴代 コピーライター

第1回は、情報誌づくりの基本とメディアリテラシーを学びました。

第2回、3回では、「防災」をテーマに情報誌を作成し、各自発表をしました。子育てや介護、健康、地域活動など、受講者が日ごろから取り組んでいるテーマと、「防災とジェンダー」を結びつけた紙面や、阪神淡路大震災や東日本大震災をジェンダーの視点を持って見直し作成した紙面など、松井講師が個別に丁寧にアドバイスをしました。



被災体験を忘れない

トレピエ・情報資料室で貸出ししています

東日本大震災



東日本大震災「災害・復興時における女性と子どもへの暴力」に関する調査報告書

東日本大震災女性支援ネットワーク

2015年1月改定ウェブ版

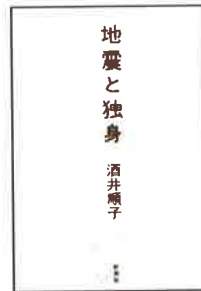


『東日本大震災と家庭科』

望月一枝・日景弥生・長澤由喜子 編著

日本家庭科教育学会東北地区会

ドメス出版 2014年6月



地震と独身

酒井順子 著

新潮社

2014年2月

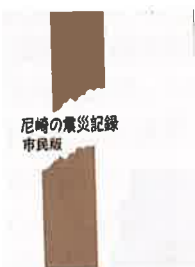


あなたを守りたい〜3.11と母子避難〜

海南友子 著

2013年8月

阪神・淡路大震災



尼崎の震災記録 市民版

季刊あまがさき社

1998年4月

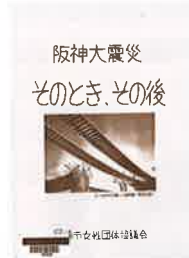
尼崎市の震災被害や市の取り組み、震災ボランティアの活動などの写真や貴重な記録が500ページを越え掲載されています。



女たちが語る阪神大震災
ウィメンズネット・こうべ編

木馬書館 1996年1月

阪神大震災で女性たちが直面したさまざまな困難。暮らしや仕事、暴力など、女性たちがみずから語り、まとめた一冊。



阪神大震災 そのとき、その後

尼崎市女性団体協議会

1995年12月

女性センターで活動しているグループの被災体験記や提言。尼崎市女性団体協議会が中心となり、編集・発行しました。

11月30日(日)に「2014あまがさき女性フォーラム」を開催しました。午前の部では、フォーラム実行委員会による3つのワークショップを行ないました。午後の部では、全体会、尼崎市男女共同参画クイズ、映画上映会と監督によるアフタートークショーを開催しました。



午前の部

ワークショップ①

ひとり親世帯の子どもの貧困率 54.6%

あなたなら、どんなことを考えますか？

講師 神原 文子 NPO法人しんぐるまざあず・ふいおーらむ関西理事長、神戸学院大学教員

ひとり親世帯の子どもの貧困率は54.6%。ひとり親、女性の就労の問題や、ひとり親世帯で育つ子どもたちへのアンケート結果から、子どもたちの就学・進学時の問題について考えました。

後半は事例をもとにグループワークで、ひとり親世帯への支援策を提案、参加者同士で検討しました。

ワークショップ②

親の家を片づける

講師 澤田 有紀 弁護士法人みお綜合法律事務所代表 弁護士

離れて暮らす親の家を片づける際には、さまざまな問題が発生します。講師が実際に親の家を片づけた体験談や、弁護士として関わった相談事例を例に、法律の側面から相続などについて考えました。

夫婦や姉妹、親戚での参加者も多く、関心の高さがうかがえました。

ワークショップ③

フォトボイス展 ～東日本大震災被災地の撮影者をかこむ集い～

スピーカー

八代 ちか子 フォトボイスせんだいメンバー

コーディネーター

ゆのまえ 知子 NPO法人フォトボイス・プロジェクト代表

(詳細は、P3に掲載)



午後の部

・全体会 午前の部報告

・尼崎市男女共同参画クイズ

・映画「潮風の村から ～ある女性医師の軌跡～」& 山上 千恵子監督によるアフタートークショー

愛知県・渥美半島の小さな村で、86歳の今も、産婦人科医師として、一人の女性として、女性のこころとからだに向き合い続け、性の大切さを伝え続ける北山郁子医師の軌跡をたどるドキュメンタリー。

アフタートークショーでは、このドキュメンタリー映画を撮るきっかけや、渥美半島の北山医師のもとに何度も通い、撮影をした時の苦労話など、山上監督から貴重なお話をうかがいました。



2015あまがさき女性フェスティバル

尼崎市女性団体協議会と女性センター利用グループからなるフェスティバル実行委員会が、3月7日、8日に「2015あまがさき女性フェスティバル」を開催しました。作品展示や体験講座、公開講座、フリーマーケット、物品展示などおおいに賑わいました。



フェスティバル記念講演会 「カナダのコミュニティハウスに学ぶ 支えあいのまちづくり」

2015年3月8日(日)13時30分～15時

講師 岡野 聡子 奈良学園大学講師

サラダボールの国と呼ばれる、多文化共生の国カナダには、すべての人が利用できる施設(ネイバーフットハウス)があります。岡野講師は、カナダ・バンクーバーの歴史やネイバーフットハウスの成り立ちを、写真や映像を用いながら説明しました。

民族、宗教、年齢、性別、障害などに関わらず、すべての人を受け入れ、その地域に住むすべての人の居場所になっているネイバーフットハウスのあり方は、地域コミュニティやまちづくりを考えるときにたいへん参考になりました。

////////// 平成27年度男女共同参画市民企画講座大募集! //////////

日頃、考えている思いをカタチに

男女共同参画に関する講座の企画を募集します。ぜひご応募ください。お待ちしております!

募集 5月1日～6月20日

※詳しくは、市報あまがさき5月号、チラシ、HPをご覧ください。

26年度は、二つの市民企画講座を開催しました

1 女性弁護士による離婚かも?お悩み相談

2014年11月5日(土)13:00～16:30

講師 西部 智子、高田 晃子、今泉 華子 弁護士

企画・運営 法律事務所ユノ

参加者 28人

2 アートセラピーによる心の解放 秋色コレクション

2014年11月22日(土)13:30～15:30

講師 中西 伸子、掛川 るり子 いきいきアート教室「ぷくぷく」

企画・運営 DV被害者支援ネットワーク近畿

参加者 15人

心に傷を受けた女性や子どもの作品展「心を解放する作品展」を同時開催。



春～夏の講座・セミナーのご案内

詳細は開講日のおおむね1ヵ月前に広報チラシ、ホームページ、市報あまがさきなどでお知らせします。なお、開催時期、講座の名称などは変更する場合があります。また、応募が最少催行人数に満たない時は中止する場合があります。



	講座名・内容	開催日	受講料	保育
男女共同参画セミナー講座	男女共同参画市民企画講座(募集期間)	5月1日～6月20日	—	—
	読書でリラックスタイム	月1回 第3木曜日 10:00～12:00	無料	あり・無料
	ハローワーク尼崎マザーズコーナー出張職業相談	毎月1回 第3木曜日 12:00～15:00	無料	あり・無料
	DV被害に遭った女性のための気づきと回復の講座	4月10日～9月25日 第2・4金曜日 全27回 10:00～12:00	1回500円	あり・無料
	母子家庭等の女性のためのパソコン基礎講座&就労セミナー	前期・後期2回	無料 (テキスト代実費)	あり・無料
	子育て中の女性対象の男女共同参画連続セミナー	6月予定	無料	あり・無料
	働く女性の時間管理術	7月予定	無料	あり・無料
	働きづらさに悩むガールズ応援講座	7月予定	無料	なし
	パパといっしょにクッキング	8月予定	無料(材料費実費)	あり・無料
	成長期の女の子のからだを知ろうツボミスクール	9月予定	無料	あり・無料
スキルアップ資格取得講座	医療事務管理士資格取得講座	4月14日～7月16日(火・木)全27回 10:00～12:00	51,000円	あり・有料
	介護事務資格取得講座	5月21日～7月9日(火・木)全15回 18:45～20:45	30,000円	あり・有料
	チャレンジ支援パソコン講座入門コース(ワード・エクセル)	5月8日～6月10日(水・金)全10回 ワード10:00～12:00 エクセル13:00～15:00	各コース 14,040円	あり・有料
	チャレンジ支援パソコン講座応用コース(ワード・エクセル)	6月17日～7月10日(水・金)全8回 ワード10:00～12:00 エクセル13:00～15:00	各コース 11,880円	あり・有料
	日商PC3級(文書作成・データ活用)資格取得講座	5月12日～7月14日(火・木)全19回 文書10:00～12:00 データ13:00～16:00	文書25,000円 データ35,000円	あり・有料



カフェ・トレピエ リニューアル!

2015年3月、尼崎市女性センター・トレピエ 1階にあるカフェスペース「カフェ・トレピエ」がリニューアルしました。

2011年10月にオープンした、女性のチャレンジを応援する「カフェ・トレピエ」は、さまざまな理由で働きづらさを感じている女性や、ブランクが長く再就職に自信が持てない女性を対象に、しごと体験、社会体験の場として、ジョブ・トレーニング(就労体験)を行なっています。

また講師体験、自主作品販売体験など、起業をめざす女性のための「場」を提供しています。

今後も、女性のチャレンジを応援する「カフェ・トレピエ」としてさまざまなイベントを行ないます。ぜひご利用ください。

カフェ・トレピエ TEL 06-6431-2477 営業日 火～土 9:30～16:00



女性の悩み相談

女性がかかえる悩みの解決をお手伝いします。

○夫婦、家族、職場での人間関係の悩みや生き方、就労などの悩みを女性の相談員がお聴きします。

○法律相談はまず相談員に電話、もしくは面接で事前に相談をしていただいた後に、予約を行ないます。

【相談専用 TEL:06-6436-8636】

相談の種類		相談日	時間帯
一般相談	電話	水・金・土	10時～12時
			13時～16時
			18時～20時
	面接 (要予約)	火曜日	10時～12時
			13時～16時
			18時～20時
	木曜日	10時～12時	
		13時～16時	
		18時～20時(第3)	
法律相談 (要事前相談・要予約)	第1・2 木曜日	18時～20時	
	第3 土曜日	14時～16時	



女性のための チャレンジ相談

【完全予約制・無料】

働きたい、起業したい、資格を取りたい、転職したい…でも、何から、どうやって？

チャレンジへの第一歩をサポートする無料相談です。社会保険労務士やキャリアコンサルタントの資格を持つ女性の相談員が個室でアドバイスや情報提供を行ないます。お気軽にご相談ください。あなたの未来が拡がります。

【TEL:06-6436-6331】

★2015年4月～9月の相談日

4月	8日(水)・18日(土)・22日(水)・23日(木)
5月	13日(水)・23日(土)・27日(水)・28日(木)
6月	10日(水)・13日(土)・24日(水)・25日(木)
7月	8日(水)・11日(土)・22日(水)・23日(木)
8月	5日(水)・22日(土)・26日(水)・27日(木)
9月	9日(水)・24日(木)・26日(土)・30日(水)

時間 水曜日 ①10:00～ ②11:00～
木曜日 ①16:00～ ②17:00～ ③18:00～ ④19:00～
土曜日 ①10:00～ ②11:00～ ③12:00～

場所 尼崎市女性センター・トレピエ

●保育サポーターによる一時保育 ● 1歳以上未就学児まで (無料・要予約) 1歳未満、または小学生をお連れになりたい場合はご相談ください。



フェミナル 編集サポーターの紹介

2015年1月に開催した「情報誌づくりセミナー」(全3回)受講者の中から、新しく牧戸 由紀子さんと和田 優子さんにフェミナル編集サポーターとして、紙面づくりに参画していただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

初めまして!今年度から参加いたします牧戸 由紀子です。

フェミナルとの出会いは、図書館でした。なかなかたけなになりそうな事が載っているちょっと硬派な?情報誌で、ネーミングの“フェミナル”はおしゃれだなあというのが第一印象。フェミニン(女性)とジャーナル(刊行物)の二つの意味を示すフェミナル、その二つの視点を軸にして、お手伝いできればと思っています。どうぞよろしく! 牧戸 由紀子

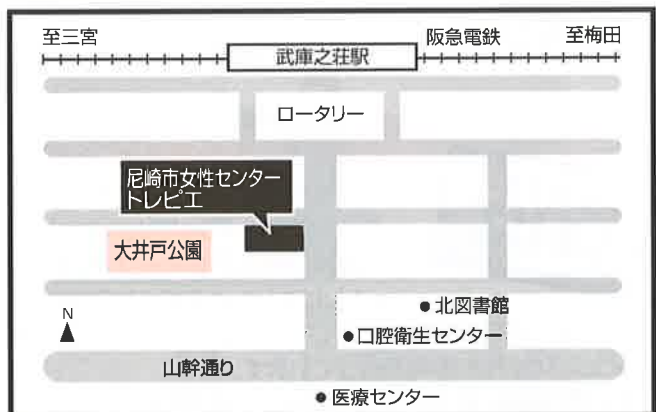
フロンティア開眼の花が蕾を膨らませているような誘いに遭遇したようです。躍動感溢れる編集内容に関われるチャンスにある種の心地よい新風を覚えています。好奇心旺盛、愛嬌と度胸をモットーに読者間をボーダーレス状態でサポーターとして邁進していきたいと思っています。

取材ご協力と共にご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。 和田 優子



・尼崎市女性センター・トレピエの第4期指定管理者は、特定非営利活動法人男女共同参画ネット尼崎に決まりました。女性センターは、平成16年7月から指定管理者制度を導入しており、第4期の期間は、2015年4月から2020年3月の5年間です。

市民の皆様にも親しまれ、利用しやすい女性センターとして、また、地域とともにある女性センターをめざし、男女共同参画社会づくりの推進に、引き続き取り組んでいきます。(I)



編集発行/尼崎市立女性・勤労婦人センター <尼崎市指定管理者 特定非営利活動法人 男女共同参画ネット尼崎>

〒661-0033 兵庫県尼崎市南武庫之荘3-36-1 電話06-6436-6331 FAX 06-6436-5757

http://www.amagasaki-trepied.com

デザイン/美馬晃子 印刷/(株)プリンティング園田 平成27年3月発行